

抗インフルエンザ薬の使用状況

処方患者の推計（企業提出資料による）

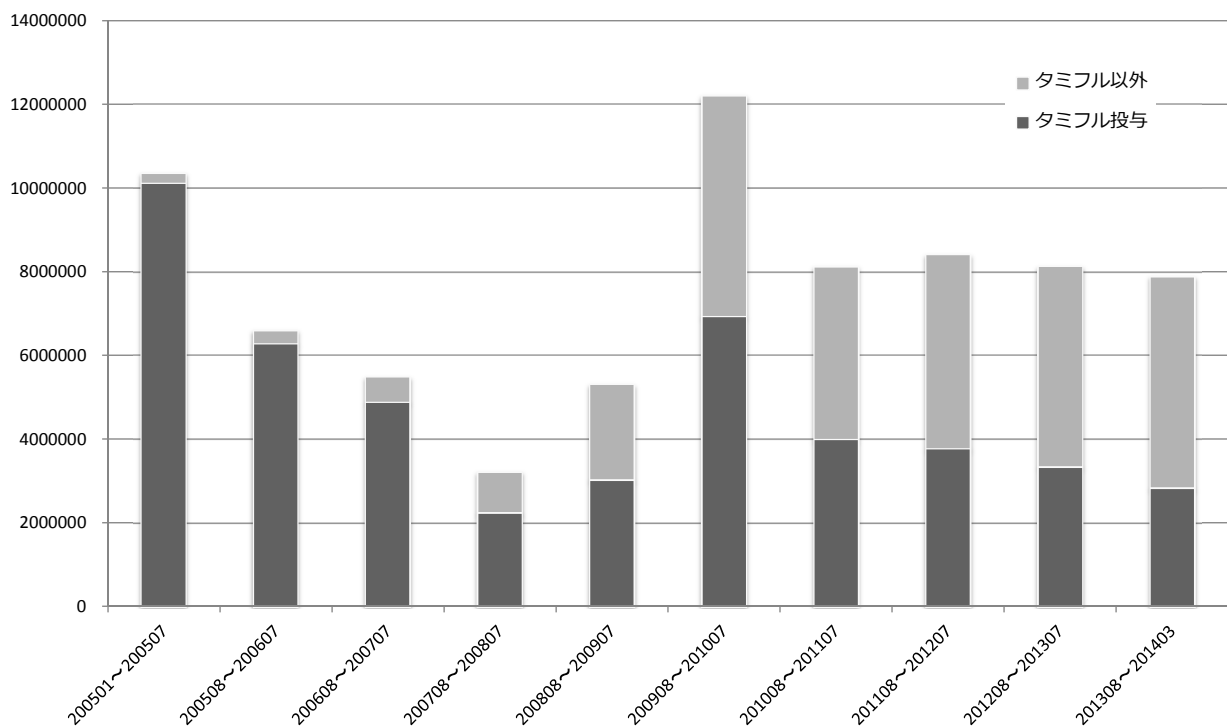
一般名	推定使用患者数（推定期間）		ページ
	〔出典〕		
販売名（製造販売業者）	うち 0～9 歳	うち 10～19 歳	
オセルタミビルリン酸塩	約 285 万人（2013 年 8 月～2014 年 3 月） 〔日本医療データセンター〕		1
タミフルカプセル、同ドライシロップ （中外製薬）	約 129 万人	約 13 万人	
ザナミビル水和物	約 146 万人（2013 年 10 月～2014 年 4 月） 〔日本医療データセンター〕		4
リレンザ（グラクソ・スミスクライン）	約 25 万人	約 69 万人	
ペラミビル水和物	約 24 万人（2013 年 10 月～2014 年 4 月） 〔JammNet〕		5
ラピアクタ点滴静注液（塩野義製薬）	約 2 万人	約 3 万人	
ラニナミビルオクタン酸エステル	約 331 万人（2013 年 10 月～2014 年 3 月） 〔日本医療データベース〕		6
イナビル吸入粉末剤（第一三共）	約 33 万人	約 91 万人	

タミフル推定処方患者

株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

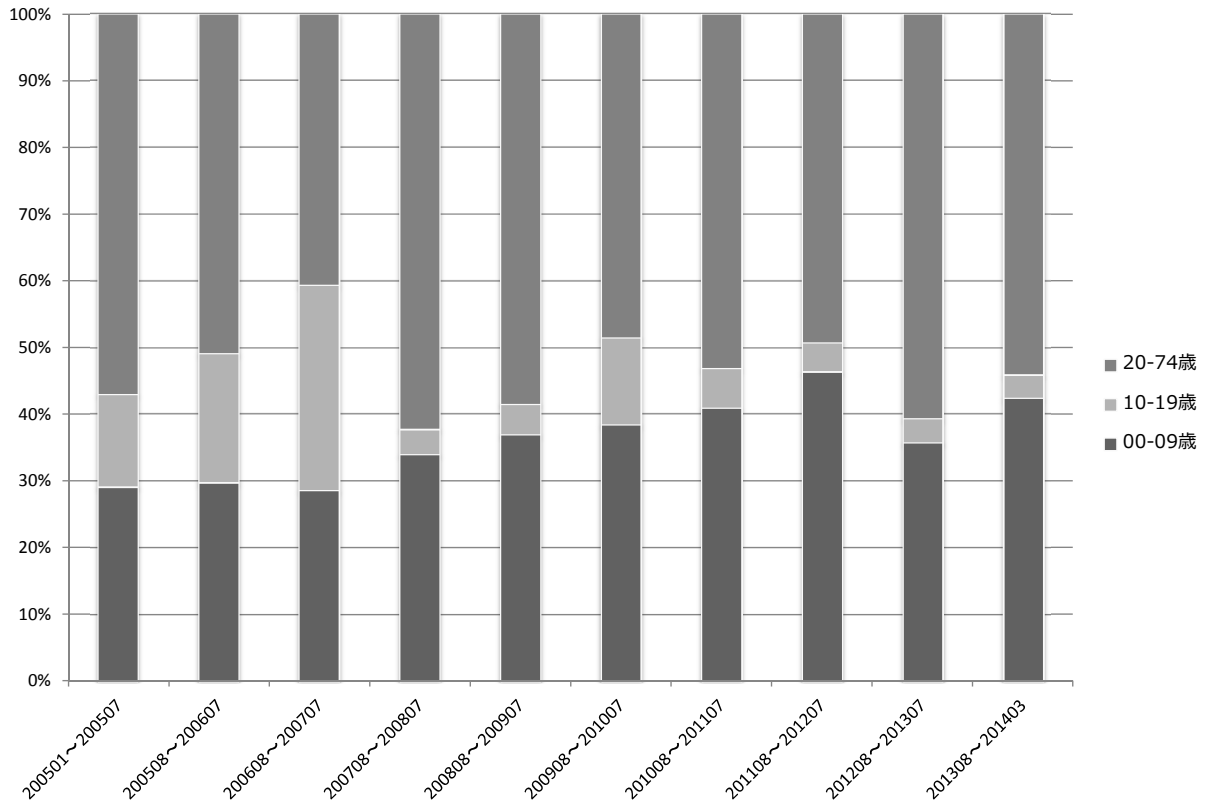
中外製薬株式会社2014年9月

年別抗インフルエンザ薬処方患者数



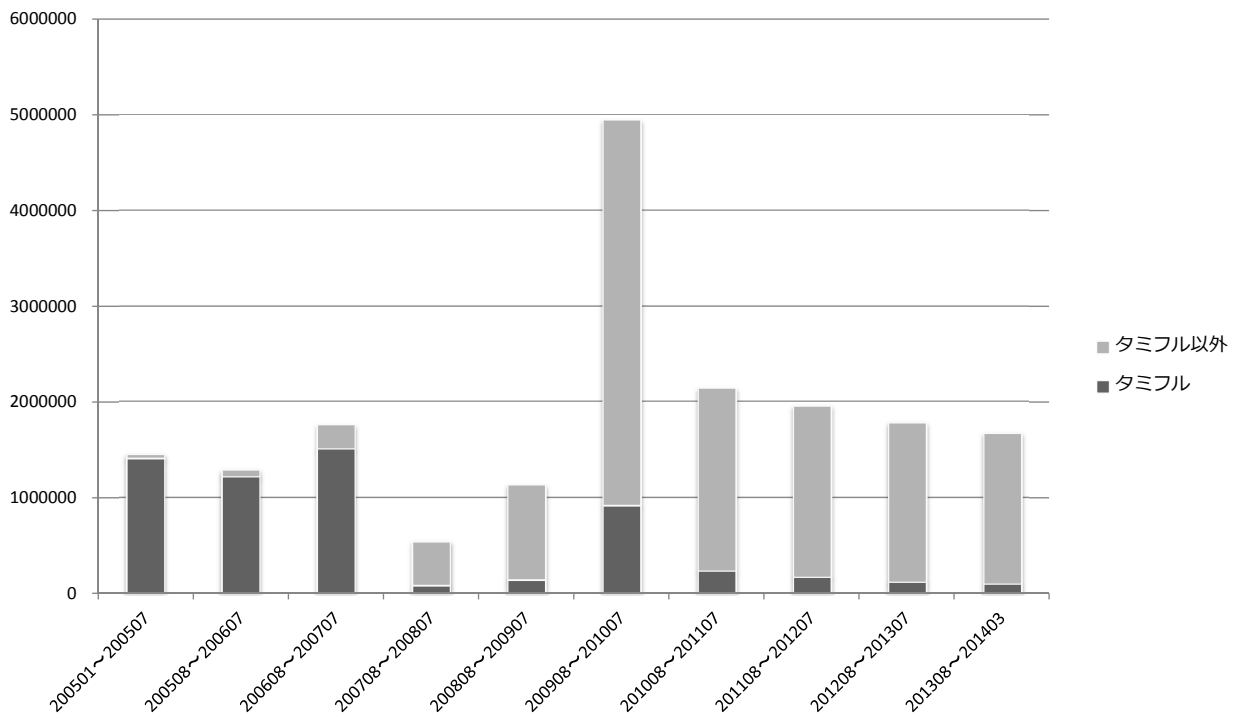
株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

年別年代別タミフル処方患者数



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

10歳代での抗インフルエンザ薬処方推定患者数



株式会社日本医療データセンターデータベースより算出

